

お子さまのすこやかな成長をお祝いしお祈りする

令和
7年

七五三 まいり

11月15日を中心に
10～11月中 毎日
ご祈禱を承っております

金堂(本堂)前にて

千歳飴を差し上げます

お子さまにいい思い出を！

※七五三は11月15日にお子さまが晴着すがたで親に付き
そわれて氏神さまやあらたかな霊場となっているお山
またはご縁の深いお宮やお寺に参詣する**日本の伝統ある
ゆかしい行事**です。親からしてもらったゆかしくなつかしい
お祝いは子供たちにもしてあげましょう！何よりの記念に
なり思い出になります。また日本の伝統文化と日本人の
こころを子や孫へ伝えてゆく何よりのよすがになります

七五三のお祝いはかぞえ年で次の**当たり年**に行う
お祝いです

男の子

3歳

(令和5年生まれ)

5歳

(令和3年生まれ)

女の子

3歳

(令和5年生まれ)

7歳

(平成31
令和元年生まれ)

今どきのことなので
満年齢でもかまいません

当たり年のお子さまのあらわれるおうちはご家族
おそろいでお参りください (令和7年九月)

ご祈禱料

一人 七千円

兄弟姉妹は

二人 一万二千円

三人 一万五千円

— お子さまとご家族の幸せをお守りする —
大本山 摩耶山 天上寺

〒六五七-0105 神戸市灘区摩耶山町二番十二

電話 〇七八-八六一二六八四

<http://www.mayasan-tenjoji.jp>



紅葉の参道で



枯山水庭園で



金堂前で



権現社にお参り

あちこち
お参りして
みよう♪



紅葉の参道で



紅葉の参道で



すすきの前で



紅葉の参道で

七五三の由来

七五三とは、お子さまが息災にその年令に達したことを祝い、さらにすこやかな成長をお祈りする大切な行事です。ご存知のごとく、昔はお子さまが息災健全に成長するのはとてもむずかしいことでした。それで、生後の奇数（三・五・七・九— おめでたい数）の年に達すると、一家の慶事としてお祝いしたのです。今日ではその中の三つを選んで七・五・三を特にめでたい数としています。

摩耶山と七五三

摩耶山は、お山自体がご神体と崇められている霊峰です。その山嶺に建つ古い名刹・天上寺は、まさに《七五三まいり》にふさわしいお寺です

七五三の俳句

子の声も着飾ってゐる七五三 萩原 成亮
うれしくてこっぴり逃げる七五三 山田 弘子
ひとかどの面を構へて七五三 伊藤 虚舟

季節の花と蝶



紅葉の参道

祝七五三詣り

例年10月上旬～中旬には境内にフジバカマの花が咲き、**渡り蝶アサギマダラ**が飛来します。また11月上旬～中旬頃には、参道のドウダンツツジや紅葉が色づきます。（年によって蝶の数や花木の状態・見頃が変わります。お気軽にお問合せ下さい）



アサギマダラ